

平成 21 年度 社会基盤工学専攻 修士論文作成に関する注意事項

2009/12/1

専攻教務

本資料は、社会基盤工学専攻において修士論文を作成し、学位を取得するための手順と注意事項を記したものです。修士論文を作成して学位を取得する学生は、下記事項を十分に理解し、指定された期日までに審査願や原稿等を適宜用意して下さい。また、修士論文や論文概要、PDF ファイルの作成等については、本資料に指定された形式どおりとして下さい。

1. 学位論文審査願・論文目録の提出

平成 22 年 1 月 8 日 (金) 16 時までに、C クラスター事務室(教務)へ下記の 3 点を提出・報告して下さい。用紙は、本資料の **添付資料 1** を利用して下さい。

1. 学位論文審査願・論文目録(用紙は本資料に含まれています)
2. 学位論文調書(用紙は本資料に含まれています)
3. 電子メールによる論文題目等の報告

提出後は、論文題目の変更はできません。修士論文の題目は、これらの資料の記述と同一である必要があります。指導教員とよく相談の上、記入して下さい。

2. 修士論文提出

「紙面に印刷された修士論文 3 部」を作成して下さい。修士論文の書式に関しては、本資料の **添付資料 2** 「社会基盤工学専攻修士論文のサンプル」を熟読の上、指示に従って下さい。紙面に印刷された原稿 3 部のうち、1 部を 2 月 12 日 (金) 15 時までに C クラスター事務室(教務)へ提出して下さい。提出された原稿は確認後、同日中に主査へ転送されることになっています。残りの 2 部の原稿は、各自 2 名の副査へ直接提出して下さい。副査への論文の提出に際しては、提出方法等に関して事前に十分に連絡を取り、確実に指定の期日までに届くようにして下さい。

3. 論文審査発表会

修士論文の内容に関する審査発表会を 2 月 17 日 (水)に、桂地球系棟 152 講義室、同 172 講義室、173 講義室にて開催します。審査発表会の時間割については、1 月下旬に通知する予定です。審査発表会には積極的に参加し、他研究室の学生の発表も聴講するよう心がけて下さい。

審査発表会までに 「論文概要」を作成し、適当な部数のコピーを取り、審査発表会会場へ持参して、発表が始まる前に聴講者に配布して下さい。「論文概要」の書式は、本資料の **添付資料 3** 「修士論文概要のサンプル」に従って下さい。液晶プロジェクター、論文概要等を用いて 15 分の発表、5 分間の質疑応答を行います。時間厳守に務めてください。

4. 審査

合否判定の審査は 2月18日(木) に行われます。審査の会場と時間割は1月下旬に通知される予定です。時間と会場を事前に確認の上、当日は会場の前に審査開始時刻の15分前までに集合すること。審査では、主査と副査2名が審査発表会での質疑応答も含めて、論文の詳細を試問します。同時に、論文の書き直しや論文概要の修正などがある場合には、指示があります。論文の主査の指示に従い、修士論文、論文概要、その他審査発表会で用いた資料等を持参して下さい。

5. 判定結果の通知

審査終了後、2月18日(木) 17時から桂191講義室にて判定会議が開かれます。審査対象の学生は、191講義室前で17時15分から待機して下さい。判定会議終了後、指示に従って入室して下さい。専攻長が合否結果を報告します。

6. 修正済み修士論文原稿等の提出

修論発表会および審査等で指摘された事項等に関する修正を行い、最終原稿を作成します。完成した原稿は、PDFファイルとした後、1編の論文を1枚のCD-ROMに保存して下さい。最終的な提出物は、以下の3点です。

1. 修士論文のPDFファイルが保存された CD-ROM 1枚
2. これをA4用紙に片面印刷した 修士論文原稿 1部
3. A4用紙に片面印刷した 論文概要の原稿 1部 (4ページ)

以上の3点を一式に揃えて、3月4日(木)、15時までにCクラスター事務室(教務)へ提出して下さい。PDFファイルの作成に際しては、本資料の **添付資料2** 「社会基盤工学専攻修士論文のサンプル」内に記述された「PDFファイルの作成方法とCD-ROMへの保存について」を熟読し、指示に従って下さい。

審査発表会で使用した論文概要に関しても、書き直し等が指摘された場合には必ず修正を行って下さい。論文概要の書式は、本資料の **添付資料3** 「修士論文概要のサンプル」に従って下さい。論文概要は専攻内で概要集としてまとめられ、すべての著者と関連する教員に配布される予定です。

●上記について不明な点がありましたら、専攻教務担当の山田 泰広(桂C1-1棟108号室)あるいはCクラスター事務室(教務)にお問い合わせ下さい。

以上